



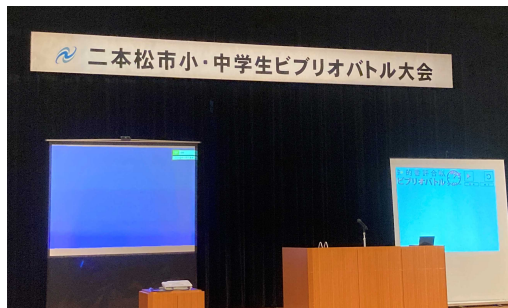
輝け！北っ子！

第1回二本松市小・中学生ビブリオバトル大会開催 ～人を通して本を知る 本を通して人を知る～

「ビブリオバトル」って知っていますか。「ビブリオバトル」とは、立命館大学情報理工学部の谷口忠大教授が考案した、ゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの「書評合戦」です。発表参加者（バトル）たちがおすすめ本を持ち合い、持ち時間で書評した後、バトルと観客が一番読みたくなった本、「チャンプ本」を決定します。

(<https://zenkoku.bibliobattle.jp/bibliobattle> より)

29日、安達公民館／安達文化ホールにおいて二本松市



においては初めての企画となる

「第1回二本松市小・中学生ビブリオバトル大会」が開かれました。北小からは6年三浦快斗さんが代表として参加しました。紹介してくれた本は「2時間で足が速くなる（川本和久著）」でした。

「この本で紹介されているポン／ピュン／ランとは・・・」と自分の陸上競技での経験と本の内容を照らし合わせながら、しっかりと本の魅力を伝えてくれました。3分という決められた時間の中で聞いている人を「本を読みたくする」という難しい課題に向かって堂々とプレゼンテーションをする快斗さん。その内容、落ち着いた話しぶりはさすが北小の代表といった感じでした。

ご家庭で「模擬ビブリオバトル」をしてみませんか。ビブリオバトルは「本」ですが、「好きな食べもの」でも「憧れの芸能人」でもテーマは自由に設定してやってみてください。3分話し続けることの難しさを実感するはずですよ。これからの時代、自分の意見を自分の言葉でしっかりと伝える能力はとても重要な力となってきます。



新型コロナウイルス感染症 第8波

新型コロナウイルス感染症の新規感染者（県内）が3000人を超えてきました。いつ だれが罹ってもおかしくない状況であることはだれもが知るところかと思っています。しかしながら、学校として、子どもたちの命を守り、子どもたちの大事な家族を守るためには感染を拡大させるわけにはいきません。今のところ換気、3密回避、手洗い、消毒、黙食・・・できる対応をしっかり継続していくしかないと思っています。

しかし、感染拡大防止に対応する最大の手だてはなんとと言っても

「感染源を入れないこと」です。児童を含めた家族の健康観察等をしっかり行い、健康状態に「違和感」があるときには病院の受診登校の自粛に御協力ください。いよいよ12月に入ります。学期のまとめの大事な時期になります。よろしくお願いします。



保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください～

..... 切り取り線